

滝谷ドーム中央稜



【日時・天候・ランク】

2015年8月22日(土)~24日(月)	雨/晴/晴	参加者7名	D-D-7
----------------------	-------	-------	-------

【コースタイム】

8月22日(土)	〔集合〕北穂高小屋 14:30
8月23日(日)	北穂高小屋 5:20…滝谷ドーム中央稜取付点 7:00…終了点 10:30 …穂高岳山荘 13:30
8月24日(月)	穂高岳山荘 5:20…6:30 奥穂高岳 6:40…8:50 前穂高岳 9:00 …上高地 13:30〔解散〕

滝谷ドーム中央稜

《事前訓練》

滝谷ドーム中央稜の参加条件は、終了点到着から「登っていいよ」までを3分以内で行うこと。炎天下の鷹取山、広沢寺で4回の訓練を経て参加条件をクリア、越沢バットレスで「すべり台」をリードして準備OK。

《初 日》

集合場所の北穂小屋へは夜行バス組、自動車組に分かれ集結した。夜行バス組は上高地から北穂小屋までの9時間を15キロ以上のザックを担いで登るのでかなりの労力。それでも雨のなか全員が14時半には小屋へ到着した。夕方から晴れ渡り、槍ヶ岳も雄姿を現してくれた。ミーティングで今回は「チームみろく」全員でドーム中央稜登攀を成し遂げることを誓う。

《アタック当日》

前日懸垂地点を下見していた「みずならチーム」3人が早めに出るとの情報を得て、5時過ぎに小屋を出発。北穂の分岐からしばらく歩き、ドーム終了点近くにザックをデポした。デポ地点から右下へトラバース、懸垂点まで下降する。懸垂点から25mギリギリで懸垂下降し、バンドをたどると取り付きに到着した。

取り付き点に到着し見上げると、ブログでチェックしたとおりの垂直に近い壁。上部を「みずならチーム」が登攀していた。そして「チームみろく」のYさんもすでに1ピッチ目リードを開始していた。続いてKさんが難なくつづく。我が組1ピッチ目リードのKさんは、気が逸るのか先行のIさんと並んで攀じる。

《登攀記録》

- 1ピッチ目、2番手で登攀開始、核心のチムニーに到着した。垂らしてもらったスリングを掴むも体が上がらない。少々苦戦を強いられたがチョックストーンを乗り越える。
- 2ピッチ目はAさん。後半ロープが上がらないので終了点到着かと思っていたら、ロープが交差して上がりにくかったらしい。
- 3ピッチ目はロープを握ってリードで歩く。終了点と思いきテラスの上の支点が本来の支点とのこと。
- 4ピッチ目はふたたびAさん。最後のチムニーを右側から攀じる。
- 5ピッチ目はリード。ブログによると「ホールドが豊富で快適なクライミングが楽しめる」とのこと。最後のハングをマントリングで越えると終了点に到着した。

《帰 路》

クライミング終了後はザックデポ地点に戻り、完登の余韻に浸る間もなく涸沢岳に向かう。奥穂高山荘に到着してやっと全員で成功を祝った。翌日は吊尾根経由で前穂高岳から上高地に下り、解散した。

《感 想》

アルパインは数時間のクライミングのために15キロ以上あるロープや道具を背負わなければならないが、達成感は一入だった。



昨日の雨がうそのよう！



ドームの頭付近のデポ地点に向かう



縦走路から外れて取り付きに向かう



懸垂下降点 T1



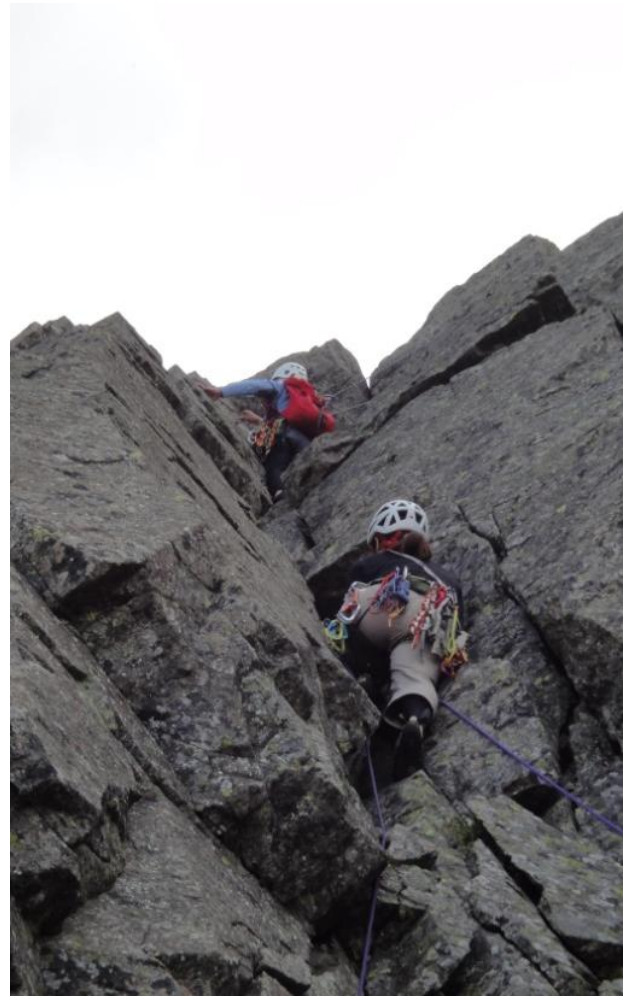
1 ピッチ目 (全景)



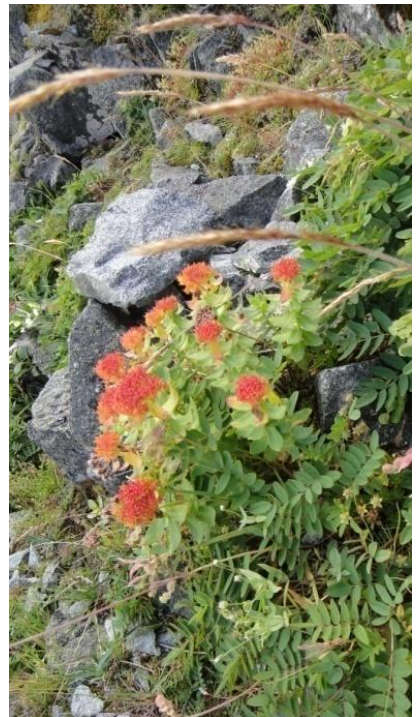
1 ピッチ目上部 (拡大)



4 ピッチ目上部



5 ピッチ目中間



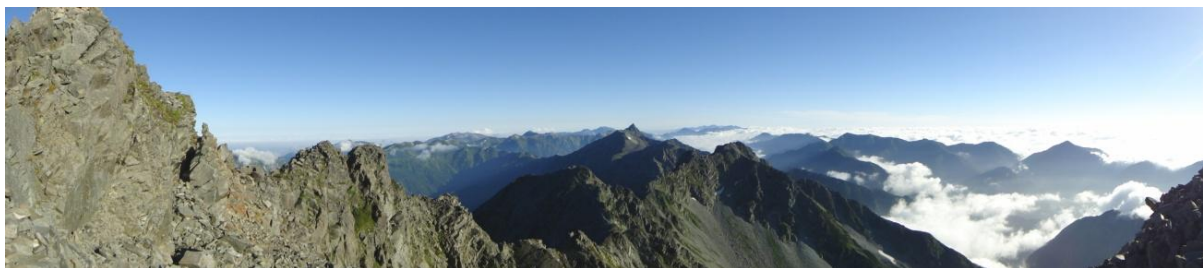
気持ちを癒してくれる花々



登攀終了後、ドームの頭から涸沢岳に向かう



最終日、吊尾根から前穂高岳に向かう



槍までのパノラマ

[過去山行記に戻る](#)